

気が付いたら猫に  
なっていました！



キナ

目が覚めたらネコになっていた。何を言っているのかわからないって？ オレも何を言っているのかわからない。でもあまりに衝撃な出来事だし、せっかくなので日記を書くことにした。

ネコの手でどうやって日記を書いているのかだって？ 無粋なやつだな。心に記しているんだよ。

10月12日（木）快晴

最初に目に入ったのは毛むくじゃらの手だった。しかもピンクの肉球付きだ。とりあえず動かしてみた。ピコピコ動く。間違いなく自分の手だった。

毛むくじゃらの体。足をピクピク動かしてみる。間違いないオレの足だ。肉球付きの手で顔を撫でてみる。耳もピコピコだ。あっヒゲもある！

そして振り返ってみる。するとそこには白いフサフサの尻尾まであった。尻尾がピンと立っている。思わず手が出る。すると尻尾が逃げる。手を出す。逃げる。それを何度かやっているとムズムズしてきたので跳びかかってみた。グルグルグルグルその場を回る。

しばらく自分の尻尾を追いかけていたが、疲れたので落ち着くために毛づくろい。

少しでも冷静になった頭で、何でオレはネコになったのかとか、今後どうするのかを考えてみた。

いろいろ考えたが、何一つわからなかった。普通に考えて有り得ないことが起きているのだ。オレなんかに分かるわけがない。仕方がないので、一つ思い付いた事を実行することにした。

それは好きなあの子の家に行くというものだ。そして彼女に飼ってもらおうという計画だ。

高鳴る鼓動。よぎる不安。彼女はどんな生活をしているのだろうか？ オレが知っている彼女と違っていたらどうしよう？ それより何より飼ってもらえるかどうか分からない。でもオレは、この思いつきが最上であると考えた。

さっそく自宅の部屋の空いていた窓から飛び出した。両親？ 知らんな。大好きなあの子の家で飼ってもらうことの方がいいに決まっているじゃないか。

あの子の家まで一駅分。しかしこれが中々に遠い。途中でオレを見て犬が吠えるものだから、面白くなって目の前でウロウロしてみた。しばらくしたら飽きたので、また彼女の家に向かう。日が沈む。夕焼け。お腹すいたな……

日が完全に沈んだ頃。

これ以上は歩けないので途中の公園のベンチで寝た。

すると、なんだかすごく寂しくなってきた、これからの事を考えたら怖くて、そして押しつぶされそうになった。

思わず声を出して泣いた。

すると自分がミーミーと泣いていることに気がついた。オレ。子ネコなんだな。この時に初めて気がついた。冷静なつもりでいたけど、そうでもなかったみたいだ。

鳴いたせいで少し冷静になる。しかし何だか余計に不安は増した。やはりミーミーと鳴く。するとコンビニの袋を持ったお姉さんがオレの元へやって来て、食べ物とミルクをくれた。お姉さん？ 子猫に牛乳は駄目ですよ？

まあでも優しいお姉さんだな。嬉しくなる。

でもすぐに、このまま拉致されたらどうしようかなと不安になる。

お姉さんの顔を覗き込む。美人だ。このまま拉致されるのも良いかもしれない。

お姉さんの足にしがみついてミーミー鳴いてみた。するとお姉さんの頬を涙が伝う。

お姉さん泣いてるの？

仕方がないのでお姉さんを慰めるために手を舐めてみる。食べ物の礼だ。存分に堪能すると良い。するとお姉さんが抱き上げてくれた。温かい。お胸がポニョポニョですね。

その後はお姉さんに撫でられながら寝た。押しつぶされそうだった夜が少しだけ怖くなくなっていた。

10月13日（金）快晴

次の日の早朝。あの子の家へ向かって一直線。途中で小学生に見つかって追い掛け回される。危うく捕まるところだった。オレには行くところがあるんだよ！

毛を逆立て子どもたちを威嚇する。

それからすぐに好きな子の家に到着した。今、何時だろう？ 彼女はまだ家だよな？

少し迷ってミーミーと鳴いてみた。

しばらく鳴いていると家から学校の制服を着た彼女が出てきた。

オレは彼女に駆け寄り、足にしがみついて鳴いた。必死で彼女に訴える。オレを飼えと。大好きなあの子が屈み込みオレの体を撫でた。彼女から良い匂いが漂ってくる。彼女の手の感触が心地いい。暖かくて柔らかくて、オレの心臓が高鳴る。

これだよこれ！ オレは今ネコだ！ ネコなんだ！ 人間だった頃とは違うんだよ！

オレは彼女の足にしがみついて「ミーミー」鳴きながら、よじ登った。彼女に必死で訴える。オレを飼えー。オレを飼ってくれー。野良は嫌だー。と。

すると大好きなあの子が家へ戻っていった。駄目だったかと落胆する。しかし少ししてお母様らしき人と一緒に出てきた。お母さんに飼ってもいいか聞いている。チャンスだ！ オレはお母様にもしがみつiki、必死で「ミーミー」鳴いてお願いをした。

困り顔のお母様。

少し悩んだようだが、オレをひと撫でして情が湧いたのか、それとも思いが通じたのか。許可が降りた。彼女に飼って貰えることになったのだ。

やったー！

しかしこの日は何かと疲れたので、ご飯を食べたら寝た。暖かな布に包まれながら。

昨日の公園で感じた不安はもうなくなっていた。

おやすみなさい。

10月14日（土）晴れ

彼女にお風呂に連れて行かれた。元人間のオレからしたら嬉しい限りだ。彼女の手櫛が気持ちいい。彼女が不思議がっている。ネコって普通は水に濡れるの嫌うもんね？

あっ！ ネコ用シャンプー。百均のやつですね？ もう少しお金かけてくれます？

お風呂のあとはご飯を食べてお昼寝だ。

10月15日（日）晴れ

寝起きの彼女がだらしがない。お風呂上がりの彼女は最高だ。

彼女のラフな格好がかなり刺激的です。チラチラ見えてみますよ？ 何がとは言わないけれど。

だけど、おかげで確信した。彼女の家に来たのは正解だったのだと。ちょっとだらしがないけど、そこも大変よろしい。いやそこが良いのか？ まあ何にせよオレは今、彼女を独り占めにしている。彼女の全てがここにある。

あっ。毛のお手入れ大変ですね。お手伝いしましょうか？

10月16日（月）雨

今日は雨。彼女が憂鬱そうに学校へ出かけていった。だいぶ寒くなったね。風邪引かないようにね？

10月17日（火）晴れ

制服はやっぱり冬服より夏服だよね。彼女の夏服は来年までお預けか。

10月21日（土）曇り

学校から帰宅した彼女とお喋り。オレは「ウナウナ」しか言えないけれど、彼女には伝わるらしい。今日、友達と喧嘩をしたらしくぷりぷりと怒っている。オレだけが聞ける彼女の本音。そして弱音。彼女の強さと弱さを知った。明日。友達に謝ろうね。

10月22日（日）晴れ

今日は一日、彼女が家にいた。彼女の足にスリスリする。お休み中だからか少し伸びた毛が痛い。お手入れしようよ。女子力が目減りしてますよ？

10月23日（月）晴れ

朝。気怠そうに家を出て行く。魔の月曜日だもんね。休み明けって辛いよね。いってらっしゃい。彼女を見送った後、いつものように彼女の部屋に侵入。彼女の匂いの残るベッドで寝た。早く帰ってこないかな。

11月1日（水）雨

週の真ん中水曜日！ 週末まであと半分だ。頑張れ！

11月11日（土）曇り

寒いな。深夜彼女の部屋に侵入。彼女の布団に潜り込む。

11月12日（日）曇り

今日は彼女が朝からお出かけ。冬服のもこもこ感が可愛いね。  
夕方に彼女が帰ってきた。何だか不機嫌だ。どうしたんだろう？

11月13日（月）雨

彼女が泣きながら学校から帰ってきた。何があったんだろう？ 彼女の周りをウロウロする。すると彼女がオレを抱き上げ、抱きしめてきた。だからオレは彼女の涙で濡れる顔にスリスリする。ゴロゴロ喉を鳴らすのも忘れない。大丈夫だよ。オレが側にいるからな。

11月16日（木）晴れ

彼女がだいぶ落ち着いてきたみたいだ。ほんと何があったんだろう。

11月20日（月）晴れ

学校から帰ってきた彼女が何やら、とても怒っていて、枕に八つ当たりしている。こんな彼女、始めて見た。部屋の入口でニャーと鳴いてみた。彼女が振り向く。何だか怖いのでそのまま居間のコタツに潜り込んだ。今日はここで寝よう。

11月22日（水）曇り

ここ最近、浮き沈みの激しかった彼女が、ようやく元気になってきた。何があったのかは結局分からなかったけど。オレは決心した。彼女の側で彼女の支えになろうと。オレは笑っている彼女が好きだから。

12月1日（金）

もうすぐ今年が終わるんだな。あっ。テスト勉強お疲れ様です。

12月4日（月）

期末試験だね。ガンバー。

12月12日（火）

テストどうでしたかー？ 確か席次はいつも50位前後だったよね？

12月24日（日）雪

彼女は友達とクリスマスパーティ。外では雪がちらちら降っている。ホワイト・クリスマスか。オレはコタツに入って丸くなる。たまに彼女に蹴られるので抗議する。ネコホールドからの噛みつきだ。ただし甘噛な？ 彼女たちの笑い声が聞こえてくる。

12月31日（日）晴れ

10月末にネコになって、およそ2ヶ月。波乱に満ちた2ヶ月だったけどオレの毎日は充実している。彼女の毎日変わる表情に、オレはますます彼女のことが好きになったんだ。来年もこんな毎日が過ごせますように。

1月1日（月）晴れ

彼女の着物姿は綺麗だった。良い年になりそうだ。

1月2日（火）晴れ

彼女の親戚達が集まっている。お子様たちに玩具にされる。逃げ惑うオレ。勘弁してくれ。

2月1日（火）晴れ

月が過ぎるのが、あっという間だ。もう2月。まだまだ寒い日が続く。

2月13日（火）雪

何やら彼女が友達と楽しそうにチョコレート作り。友チョコだよね？ 義理チョコを配るだけだよね？

2月19日（月）晴れ

週が開けた月曜日。最悪の事実が発覚した。

彼女に彼氏が出来らしい。オレは複雑な気分で彼女の惚気話を聞く。

オレが彼女の側に言っても、彼女は電話に夢中。

彼女に構って貰いたくて、彼女の口にネコパンチをするが両手をがっしりホールドされ封じられる。抵抗すると彼女に抱きしめられた。胸が締め付けられて苦しい。

オレを見てくれ！ オレに構ってくれ！ オレがここに居るだろ！

電話が終わった彼女は、何だか寂しそう。もっと話していたかったと愚痴っている。

彼女の口から語られる恋人の話聞くオレ。

聞きたくない。そんな話、聞きたくないぞ！

抗議のネコパンチをするが、彼女はそれにも構わず話を続けた。

オレには彼女の話の止めることが出来ない。彼女の話聞くことしか出来ない。

3月13日（火）雨

彼氏が居ることが発覚しておよそ2週間。彼女が家に彼氏を連れてきた。

オレは邪魔をするため男の足に絡みつく。

男がオレを撫で回す。懐いたと思われたようだ。違う！ 懐いてるんじゃないよ！

最後の抵抗とばかりに、ネコホールドをしてからの噛み付きネコキックだ。本気のやつな。

しかしそんなオレの抗議も虚しく、彼女がオレを部屋から追い出した。

彼女の部屋で大好きなあの子は彼氏と二人っきり。

オレは泣いた。全力で抗議した。彼女の部屋の前でニャーニャー泣く。鳴くではない。泣くのだ。

ドアをカリカリする。爪研いじゃうぞー。彼女の部屋の前でドタドタ暴れた。

彼女が部屋から出てきた。怒っていた。オレはまた泣いた。ニャー

オレはネコだ。ネコなんだ。なぜだか胸が締め付けられた。

こんな、こんなの嫌だ。

好きな子と一緒に過ごせる喜び。

好きな子に抱きしめてももらえる。

柔らかく温かい手で撫でてもらえる。でも、でも。

そうじゃない。そうじゃないんだ。オレは、おれは！

彼女とHがしたいんだ！

3月15日（木）曇り

オレ.....ネコなんだ.....

もう.....人間じゃ、ないんだな.....

3月19日（月）雨

3月31日（土）

そうか。あの日から半月が経ったのか。いろいろ考えてみたんだ。そう。本当に色々。

でも結局、何度考えても同じ結論に達してしまうんだ。

だから、もう、日記を付けるのをやめようと思う。

オレ、気が付いてしまったんだ。

彼女の側にネコの姿で共にあるということが、どういうことかを。

オレ。ネコなんだ。

そう。ネコなんだよ。

だから.....

今日を最後に、オレは自分が人間だったことを忘れようと思う。そうでなければオレは.....

ずっと、孤独なままだからな。

じゃあ.....

バイバイ。